フロンティアAI時代の脅威に打ち勝つ、パッチ適用の最適化

SCSK

リアルタイムパッチ配信 短期導入パッケージ

安全なWindows環境を、すぐに。

リアルタイムなパッチ配信を迅速に実現

最短1ヶ月で導入完了

対象領域（Windows環境）

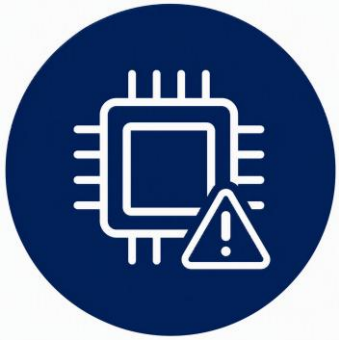
クライアントPC　クラウドサーバ　オンプレサーバ

SCSK ITインフラサービス事業グループ クラウド事業本部 クラウドサービス第三部

フロンティアAI時代の脅威に打ち勝つ、パッチ適用の最適化

リアルタイムパッチ配信短期導入パッケージ

フロンティアAIの脅威 × 防御のリアルタイム化



英国政府機関（AISI）が「Claude Mythos」の脅威を特定

フロンティアAI「Claude Mythos」が、十分に防御されたシステムに対しても自律的に脆弱性を発見し、攻撃コードを生成し得る能力を持つことが判明。これにより、攻撃のコストと時間が劇的に低下しました。

公的ガイドラインが企業に「短期的なパッチ適用」を要請

AIによる攻撃の高速化を受け、重要システムにおいて「脆弱性発見から概ね1ヶ月以内」の対応を求める公的指針が示されています。しかし、同指針では「これはあくまで応急的措置」とし、中長期的には「脆弱性対応の自動化」への移行が不可欠であると明示しています。

「防御の空白期間」をゼロにするリアルタイム体制へ

AIが脆弱性を見つけてから攻撃に至るまでの期間が「大幅に短縮」される中、これまでの手動管理や月次サイクルでは、AIの攻撃速度に追いつけません。政府の「Project YATA-Shield」の方針に沿い、検知から適用までの時間軸を極限まで短縮する体制構築が急務です。

今、企業が直面する「パッチ適用の壁」

【スピードの壁】

旧 月1回の定期適用 → 新 リアルタイム配信

【ガバナンスの壁】

旧 環境ごとにバラバラな管理 → 新 全エンドポイントの統合管理

【運用負荷の壁】

旧 担当者が手動で管理 → 新 人手を介さない自動運用

最短1ヶ月で環境立ち上げ！

「リアルタイムパッチ配信」導入ステップ

Microsoft純正機能を活用し、最短1ヶ月で導入可能

スモールスタートで確実な立ち上げ

Week 1

適用方針確認

対象端末選定・
配信方針確認

Week 2

環境構築

標準テンプレート
適用設定

Week 3

配信検証

テスト配信・
動作確認

Week 4

パイロット適用

一部本番端末
への適用

まずは小さく始めて、確かな手応えを。次のステップへスムーズに繋げます。

なぜ、たった1ヶ月で「導入」できるのか？

✓ **事前定義済みの標準テンプレート**
ゼロから設計・検討を行わず、
標準構成をベースに短期間で
導入できます。

✓ **スモールスタート方式**
まずは一部端末へ適用し、
効果確認後に段階的な
展開が可能です。

パイロット適用後、次のステップへ

1ヶ月目のパイロット適用完了

お客様主導で展開を進める場合

✓ **管理者向けレクチャー**
ダッシュボードの操作方法や
展開ノウハウを引き継ぎます。

✓ **お客様主導での追加展開**
以後はお客様ご自身で対象
端末へ順次展開できます。

SCSKが全社展開をサポートする場合

✓ **全体像への本番展開支援**
残りの端末・サーバへの
展開作業を支援します。

✓ **専門エンジニアによる伴走支援**
展開計画から本番適用まで
安心してお任せいただけます。

Microsoft技術をフル活用した「短期導入パッケージ」

クライアント端末

Windows Autopatch

Microsoftが運用を代行する「ゼロタッチ」モデルを採用

✓展開リング制御で、安全性とAIに打ち勝つ最速適用を両立

✓配信・検証工数を極小化し、人的リソースの限界を解消

クラウドサーバ

Azure Update Manager

Azure/ハイブリッド環境のパッチ状況をリアルタイムに一元管理。

✓エージェントレスで短期導入。適用漏れを即座に可視化

✓迅速な復旧（ロールバック）を支援し、AIに狙われる隙を徹底排除

オンプレサーバ

Azure Update Manager＋Azure Arc

オンプレミス資産をAzureへ統合接続。クラウド同等のガバナンスへ。

✓WSUS代替としての移行パスを提供し、管理の分断を解消

✓運用を統合。全社で一貫した「防御の空白」対策を実現

SCSKが提供する3つの価値

01 SPEED

AI脅威のスピードを凌駕する「短期導入」

フロンティアAIによる攻撃サイクルの短縮化に対し、金融庁が求める「1ヶ月以内の対応」をベストプラクティス化。環境調査から運用移行までをパッケージ化し、ゼロから設計する時間を排除して最速で防衛体制を構築します。

02 COVERAGE

死角をなくす「3領域の統合・一元管理」

クライアントPC、クラウド、オンプレミス。組織内で分断されがちなパッチ管理プロセスをSCSKの知見で一元化。複雑な環境下でも死角を作らず、全エンドポイントへ一貫したセキュリティポリシーを適用します。

03 VISIBILITY

監査やガバナンス要求に応える「状況の可視化」

高まるセキュリティ監査や状況報告の要求。ダッシュボードを通じて、全エンドポイントのパッチ適用状況をリアルタイムに可視化します。手作業によるデータ集計の負担をなくし、正確かつ迅速なリスク把握と報告体制を確立します。

サービス	提供価格
リアルタイムパッチ配信短期導入パッケージ	個別見積もり

SCSK

ITインフラサービス事業グループ クラウド事業本部
クラウドサービス第三部

※ 本紙に記載の内容は、予告なしに変更される場合がございます。

［2026年 9月現在］